

富士山世界文化遺産協議会学術委員会及び
富士山世界文化遺産協議会作業部会における主な意見

【学術委員会】

第 19 回富士山世界文化遺産学術委員会(令和 4 年 11 月 15 日開催)

(報告 1) 今夏の富士山の状況について

- ・新型コロナウイルス感染症は山小屋や登山者の意識に大きな影響を与えたのではないかと。コロナ後の「望ましい富士登山のあり方」について、データやアンケートに基づいて検討を進めてもらいたい。

(議事 1) 令和 3 年度経過観察指標に係る年次報告書(案)について

- ・弾丸登山の是非については、様々な見解があるので、用語の定義の見直しや危険性について生理学的な研究も踏まえて進めてもらいたい。

(議事 2) 新型コロナウイルス感染症影響調査について

- ・経過観察指標については、新たな指標を盛り込むことを検討してもらいたい。

第 20 回富士山世界文化遺産学術委員会(令和 5 年 2 月 14 日開催)

(報告 1) 新型コロナウイルス感染症影響調査について

- ・今回の新型コロナウイルス感染症影響の結果を踏まえて、より詳細な分析をしていく必要がある。

(報告 2) 富士スバルライン洞門等の整備について

- ・構成資産の範囲内での開発行為となるため、洞門整備の必要性をしっかりと整理してもらいたい。

(議事 1) 来訪者管理計画の見直し検討体制及びスケジュールについて

- ・特に意見なく、事務局案どおり了承された。

【作業部会】

第 23 回富士山世界文化遺産協議会作業部会(令和 4 年 12 月 2 日開催)

(報告 1) 今夏の富士山の状況について

- ・特に意見なし。

(議事 1) 令和 3 年度経過観察指標に係る年次報告書(案)について

- ・特に意見なし。

(議事 2) 新型コロナウイルス感染症影響調査について

- ・特に意見なく、事務局案どおり了承された。

第 24 回富士山世界文化遺産協議会作業部会(令和 5 年 3 月 8 日開催)

(報告 1) 新型コロナウイルス感染症影響調査について

- ・特に意見なし。

(報告 2) 富士宮口五合目来訪者施設整備事業の状況について

- ・富士山五合目は高地で施工環境が厳しい工事になると思われる。現在の仮施設での運営では来訪者受入体制は十分とは言えないので、早期実現に向けて県には頑張ってほしい。

(報告 3) 富士スバルラインの洞門等の整備について

- ・特に意見なし。

(報告 4) 利用者負担制度の検討状況について

- ・富士山の入山箇所は、4 登山口に限定されないため、全員から徴収するには困難を伴うことが予想されることから、不公平感が生じないように検討してほしい。

(議事 1) 来訪者管理計画の見直し検討体制及びスケジュールについて

- ・現在の来訪者管理計画は、ユネスコの勧告に合わせ、主に五合目以上を対象としているが、五合目より下についても対象に含めることができなにか検討してほしい。
- ・現在の計画指標の区分である「過剰な登山者数による混雑・危険・不満を感じない登山ができること」に関連して、八合目以上では落石がある危険な場所であることから、「危険～を感じない」という文言ではなく「危険を意識して」というニュアンスに文言を改めていただきたい。

(その他)

- ・新型コロナウイルス感染症が 2 類から 5 類に下げられることに関して、富士登山のマナーのあり方についても再検討してほしい。
- ・山梨県側の「富士山登山鉄道構想」については、地元の意見をしっかり聴取して進めてほしい。